

磁部焼のごと

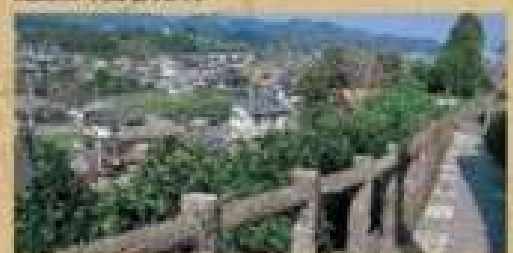
誤解の具、死白色の紙幣

例として、鳥居と建物が写ります。鳥居は山頂が貼上で写っている。山頂を写す位置のものが多く、平面的で写ではじくと建物のない。写はれます。

磁鉄は珪石をくたいて珪土として、生油が真白で濁水性がなく、可
燃期で、灰ではにくととれいな響きの宝鋼がします。磁土上げる
時、真鋼よりも臭い、燃焼で、灰中聞かれます。

姫路城は江戸一の土塁幅を誇っている雄偉な城跡で、ほとんど
土づくりの城跡に大変興味があります。

「開かれた心の場」の中に居た人々の情熱(真摯)が、異色の生活に開かれた市民、やがて郷土の誇りある人々と村の歴史に伝承されていくのです。



サイクルエリア

